



著者プロフィール

青木亮人（あおきまこと）

昭和49(1974)年、北海道小樽市生まれ。同志社大学
文字部文化学科国文学専攻卒業、同大学院修了。博士
（国文学）。現在、愛媛大学教育学部准教授。

平成20（2008）年に第17回柿衛賞（兵庫県柿衛文庫
主催、若手俳文学研究者が対象）、同27年に評論集『そ
の眼、俳人につき』（邑書林、同25年）で第29回俳人協
会評論新人賞及び第30回愛媛出版文化賞大賞、同年に
「明治期俳句革新における「写生」の内実について」で
第1回俳人協会新鋭俳句評論賞を受賞。他著書に『俳句
の変革者たち 正岡子規から俳句甲子園まで』（NHK
カルチャーラジオテキスト、同29年）等、学術論文に
「「汽罐車」のシンフォニー 山口誓子の俳句連作につ
いて」（「昭和文学研究」73号、同28年）等。

現在、俳誌「翔臨」「静かな場所」「円座」「白茅」「100
年俳句計画」「子規新報」「花信」及び総合誌「俳壇」に
評論を連載中、また朝日新聞俳句時評を担当中。

平成29年にNHKラジオ番組「俳句の変革者たち」に
出演(4～7月)、同22年よりエフエムいたみ「ことばの
花束」に定期出演中。同28年より愛媛県文化振興財団
文化講座で「俳句学」「愛媛学」を担当中。

<評論『近代俳句の諸相 ー正岡子規、高浜虚子、
山口誓子などー』より転載>

<2018年8月30日時点>